

「おもてなし給食」が人気のおかやまマラソン。

今年は地元のラーメン店 5 店舗が参加。

～11 月 13 日開催の「おかやまマラソン 2016」、15,764 人が快走～

中四国最大規模の都市型マラソン大会、「おかやまマラソン 2016」が 13 日開催され、秋晴れの絶好のマラソン日和の中、全国から集まった 15,764 人のランナーが、晩秋の「晴れの国おかやま」を駆け抜けた。



おかやまマラソンは、昨年第 1 回として開催された県内初の日本陸連公認のフルマラソン大会で、第 2 回となる今年は、マラソン(42.195km)14,778 人、ファンラン(4.5km)986 人の計 15,764 人のランナーが出走する中四国最大規模の都市型マラソン大会、「おかやまマラソン 2016」として開催された。

おかやまマラソンは、岡山のメインストリートである桃太郎大通りや、岡山城・後樂園を眺めながら走る旭川沿い、そして 30km 過ぎに現れる難所の岡南大橋と、地元岡山市出身のスペシャルアンバサダー有森裕子さんも監修したという見所、走り所満載のコースレイアウトとなっている。

また、沿道からの途切れなく続く熱い声援や、伝統工芸・真田紐を通した備前焼の完走メダルなど、おかやまマラソンならではの魅力が参加ランナーから高い評価を得ているが、特に人気なのがスタート・フィニッシュ地点及びコース沿道の計 14 か所で提供される「おもてなし給食」だ。

一般的なマラソン大会のエイドステーション(給水・給食ポイント)では、水やスポーツドリンクの他、補給食としてはバナナやオレンジなどのフルーツ等を提供することが多いが、おかやまマラソンのエイドステーションで提供される「おもてなし給食」はユニークだ。定番のバナナはもちろんのこと、ご当地銘菓であるモンキーバナナ(カステラ)やバナナクリームロール、高原ブッセに瀬戸大橋まんじゅう、ランナー仕様の海塩きびだんご、プチトマトや干両なすの浅漬けなども提供される。

そして終盤の難関、岡南大橋を渡り終えた後の 31.7km 地点で提供される大人気の「おもてなし給食」が、なんとラーメン。

昨年の盛況ぶりを反映して今年はさらに拡充し、県内のご当地ラーメン店 5 店舗が参加。「小豆島ラーメン」(岡山市北区本町他)、「えびすらーめん」(岡山市北区平和町他)、「ママキッチン味々亭」(笠岡市笠岡)、「ぼっけゑラーメン」(岡山市北区下石井)、「Kurikara(クリカラ)」(倉敷市児島上の町)とどれも個性的なご当地ラーメンが、ランナーが食べやすいようにいずれもミニサイズで提供された。今年ジーンズの町、倉敷市児島から初参加した「Kurikara(クリカラ)」は、デニムの色を模した青色の麺が特色。兵庫県から参加した西口昌宏さんは「どのラーメンにしようか迷いましたが、見た目のインパクトでこちら(青色の麺)にしました。美味しいし、塩分補給にもなってラスト 10 キロがんばれそうです」と、割り箸片手に笑顔で答えた。ご当地ラーメンの「おもてなし給食」は、「タイムよりラーメン！」というランナーに 5,000 食が振舞われた。

大会を終え、スペシャルアンバサダーの有森裕子さんは、

「2回目ですが、今年は今年で岡山の街の良さを踏みしめながら走れたと思います。沿道応援の皆さまを含め、給水、給食、警備、ボランティア応援の方、本当に途切れなく応援してもらいました。ありがとうございました。（給食の）ナス美味しかったです。ランナーの皆さんも本当にいいコースだと言ってくれるので、すごくうれしかったです。これにおごることなく、思いを継続して、これからもこの大会をちゃんと大切にしていきたいと思います。ありがとうございました。」と感想を述べた。

●走り終わったランナー

今回、東京から初めて参加した 会社員 浦野 美智子さん(39歳)は、5時間 36 分 26 秒で完走。「10 キロ付近から苦しくなり、20 キロのあたりで歩きだしてしまった。景色は南の方に行くとのどかで、街との変化を楽しむことができた。ラーメンは是非食べたいと思っていたので食べたが、その後、もうあきらめるかなあという思いもしていた。

けれども、沿道の皆さんが、「まだ行ける！あきらめるな」という応援が、小さい子供さんからお年寄りまでずっとあって、あきらめずに完走できた。素直に嬉しいと思います。

次に鳥取マラソンに挑戦するので、さらに練習を積み重ねたい。」と振り返った。

●千鳥 大悟さん（ファンランを走り終えて）

とても気持ちが良かった。

沿道からの応援がすごかった。「大悟！大悟！」との声援が続いた。

芸人なので涙を見せるわけにはいかないが、感動した。

●大会を振り返った総括（岡山県知事 伊原木隆太）（ファンランを走り終えて）

「晴れの国おかやま」らしい青空の下で大変気持ち良かったです。

今年も開催できたことを嬉しく思います。参加者の半分は県外の方であり、是非この機会をとらえて岡山をPRしていきたいと考えております。

大会を支えていただいた 4,700 名のボランティアをはじめ、沿道から絶え間ない声援を送っていただいた多くの県民の皆様、御協賛・御支援いただいた企業、団体、そして報道関係各社など、御協力いただいたすべての皆様に、心からお礼申し上げます。